科目名				学年
経済学Ⅰ:Economics Ⅰ				4B
教員名	岸川 善紀 : KISHIKAWA Yoshinori			
単位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位
1	100分×15回	必修	講義・前期	○

授業概要	本講義ではミクロ経済学について解説をする。消費者理論に基づく需要の決定、生産者理論に基づく供給の決定について説明する。さらに、市場の問題解決に資することを目的に、消費者と生産者が出会う市場のメカニズムを説明し、それらの持つ制約条件を特定する能力を涵養する。

到達目標	評価方法	配分
(1)生産者理論について理解している	中間試験で評価	35%
(2)消費者理論と市場分析について理解している	期末試験で評価	35%
(3) (1)(2)より市場の均衡条件を説明でき、市場の失敗について原因となる条件を理解できる	課題、レポートで評価	30%

学習・教育目標	(C)①	JABEE基準1(2)	(e)

授業計画

回	項目	内容
第1	ガイダンス	講義全体の解説とミクロ経済学の視座について説明する
第2	消費者理論(1)	消費者行動の理論について説明する
第3	消費者理論(2)	予算制約下での効用最大化などについて説明する
第4	消費者理論(3)	市場における需要曲線の導出などについて説明する
第5	生産者理論(1)	企業行動に基づく生産者理論について説明する
第6	生産者理論(2)	平均費用、平均可変費用、限界費用などについて説明する
第7	中間まとめ	ここまでのまとめとして中間試験を実施する.
第8	生産者理論(3)	市場における供給曲線の導出について説明する
第9	市場分析(1)	完全競争市場における市場均衡について説明する
第10	市場分析(2)	独占・寡占などのケースについて説明する
第11	厚生経済学(1)	生産者余剰、消費者余剰について説明する
第12	厚生経済学(2)	パレート最適性について説明する
第13	市場の失敗(1)	市場の失敗のケースについて説明する
第14	市場の失敗(2)	市場の失敗のケースにおける政府の役割などについて説明する
第15	まとめ	全体の学習事項のまとめを行う. また授業評価アンケートを行う.

自学自習の内容	演習課題、レポートを課す
関連科目	
教科書	飯田幸裕、岩田幸訓「入門経済学」創生社
参考書	
授業評価・理解度	最終回に授業評価アンケートを行う.
副担当教員	
備考	